

探訪 **チャレンジ企業 26**

新分野を目指してさらなる挑戦を  
続ける光興業(株)  
光興業(株): 津幡町  
(アルミ製品製造)

「一 合理化を極限まで追求する世界」  
自動車部品業界は、大変に合理化が進んだ業界である。特にカンバン方式に代表される生産システムの優秀さは他にその類を見ない。苦境に立つ日本産業界にあって、唯一健闘を続ける貴重な存在でもある。  
県内にも、その一員として、売上、利益を大幅に増やしている企業がある。それが今回紹介する津幡町の光興業株式会社である。  
同社は昭和三十六年十月、(株)山本製作所の一部門として金沢市浅野本町に設立され、現日野車体金沢工場の指導を受けて、バス用アルミ窓の製造を開始し



アルミの新製品開発に取り組む光興業(株)

た。昭和四十七年には、現在の主力取引先であるアイシン精機グループとの取引も始まり、自動車部品用アルミ加工の分野では、その高い技術力によって全国に広くその名を知られるに至った。

二 新製品開発の発想

同社は、自動車業界の一員として、今次不況下にあっても、当然といえば当然だが順調に売上を伸ばしてきた。本年度には、七%もの売上増を達成している。しかし外部からは順調に見えるても、当事者にとっては大きな不安が残ることが多い。その一つは、同社の生産品は、比較的付加価値の低いものが多いということ。もう一つは、大手自動車メーカーは精力的に海外展開を進めていて、その分だけ国内生産が減少し、将来は、外注への発注分が半減するかもしれないということである。この二つの不安を同時に解決すべく同社が取り組んだのがアルミ素材を利用した自動車以外にも使用可能な精密加工品即ちヒートシ

三 精密ヒートシンク加工への進出

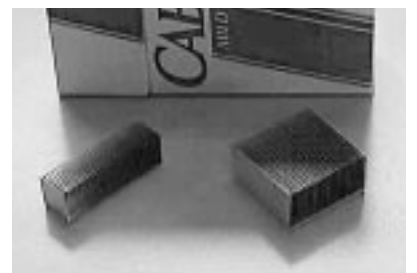
「ヒートシンク」とは機械の運転により、内部にたまった熱を外部に放出して適当な温度にまで下げる部品である。押出製、フィンかしめ製、鑄造製、ダイカスト製などがあるがそれぞれに「小型化できない」「一定量以上を生産しないと採算がとれない」「充分な熱伝導性を得られない」等の欠点がつきまとう。これを切削加工に切り換えれば、フィンを薄くすることにによって格段の性能アップを図ることができ、その分小型化も可能となる。OA機器や家電製品へも装着可能となり、一挙に市場が拡大する。  
永年にわたって蓄積してきたアルミ精密加工のノウハウを活かした製品であり、予定通り量産化できれば、同社の将来は、非常に明るいと言えるだろう。

四 堅実な経営方針

通常企業紹介と言えば、一般受けするエピソードや裏話といった類いのものを掲載することが多い。しかし自動車部品業界には、その手の話は存在しない。受注側は発注企業が必要とす



社長の山本等さん



放熱性、小型化、コストダウン等の要件を満たす切削加工によるアルミ製ヒートシンク (写真はタバコと大きさを比較したもの)

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

(お問い合わせ)  
光興業株式会社  
〒九九二 〇四二六  
河北郡津幡町竹橋力八六  
TEL 〇七六 二八八 一二四四  
FAX 〇七六 二八八 一二二八

代理店研修生募集

研修嘱託社員となっただき、将来専業代理店となっただきです。

損害保険代理店は時代の先端をゆくビジネスです。

- 資格 22歳~45歳
- 給与 210,000円~280,000円(固定給)
- 研修期間 標準36ヶ月

まごころでサービス

**安田火災**

くわしくは、お気軽に  
右記へご相談下さい。

安田火災海上保険(株)

金沢支店 金沢市香林坊1-2-21  
第一支社 電話 (076) 262-1671